

学校だよりNo.36

令和2年11月19日(木)
泉崎村立泉崎中学校

白 華

発行責任者 校長 桑原 透

泉崎中スローガン

- 1 明るく元気なあいさつ
- 2 健康・安全
- 3 「自他共栄」
- 4 「一歩改革」

目指す学校像

- 1 安全で安心して生活できる学校
- 2 生徒・教師が楽しめて「今日も来てよかったなあ」と思える学校
- 3 生徒が主体となって活動し、明るく活気のある学校
- 4 学校・保護者・地域が連携し、共に成長していく学校
- 5 保護者や地域から信頼される学校

保護者対象の教育講演会を実施します

先週、授業参観の案内を差し上げましたが、今年度は保護者対象に教育講演会を行います。

7月8日(水)の授業参観を行う予定だった日に、生徒向けの講話を行いました。保護者の皆様の参加も呼びかけましたが、参加した保護者の方は一人もいませんでした。

今回は保護者対象の講演会ですので、ぜひ多くの皆様が参加して下さることを願っています。

現在のところ15名程度の申し込みとなっています。

**参加すれば必ず
ためになります**



お子様をSNSのトラブルやスマホ・ゲーム依存から守るために！
ネット依存になる子ならない子は何が違う？保護者ができることは

日時：12月11日(金) 14:10～

会場：本校ワークセンター

講師：夢デザイン総合研究所 森 仁市 氏

(泉崎村教育委員会GIGAスクールサポーター)



すでに参加申込書を欠席で提出していても大丈夫。当日参加もOKです！

生徒会役員選挙

生徒会役員を決める選挙が行われます。内容については下記のとおりです。是非積極的に立候補してほしいです。



- 1 選挙の種別 会長1名 副会長2名（1・2年から各1名）
書記1名（2年から1名） 会計1名（1年から1名）
- 2 日程 ○11月18日（水）選挙告示（昼の放送）、立候補受付開始
○11月27日（金）立候補受付締め切り
○12月2日（火）～ 選挙活動開始
○12月16日（水）立会演説会・投票

特集! やってはいけない“脳の習慣”⑫

【ゲームは本当に子どもに悪影響なのか？】

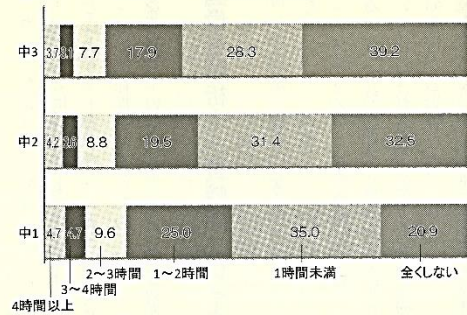
ゲームをやりすぎると子どもの心身の発達にさまざまな悪影響があることは知られていますが、ゲームプレイ時間と学力にはどのような関係があるのでしょうか。

全国全ての小学6年生と中学3年生に実施している全国学力学習状況調査（H27）によると、平日に少なくとも1時間以上ゲームをする子どもの割合は、小学生54.3%、中学生57.4%でした。

図2-1は仙台市の「中学生のゲーム時間の割合」データをまとめたものです。気をつけて見ていただきたいのは「1～2時間」と「2～3時間」を合わせた値、つまり「一日1時間～3時間程度ゲームをやる子ども」は3～4割に上るということです。調査の結果ゲームのプレイ時間の分布は、全くしない子ども、1時間未満する子ども、1時間以上する子どもがそれぞれ同程度の割合を占めることが分かりました。

成績への影響については次号で・・・

図 2-1 中学生のゲーム時間の割合



昨年度の白樺No.31(12月5日)の「特集! メディア依存①」に掲載した内容です。

11月28日(木)のニュースや新聞で、『ゲーム依存の悪影響』について、本格的なアンケート調査を行った結果が報道されていました。これは、依存症の専門治療を行う国立病院機構久里浜医療センターが発表したものです。ゲームと生活習慣の実態を全国規模で調べたのは初めてです。全国の10～29歳の約33%が平日に一日当たり2時間以上オンラインゲームなどをしており、時間が長い人ほど学業や仕事への悪影響や体や心の問題が起きやすい傾向にあったとのことです。

世界保健機関（WHO）は5月、ゲーム障害をアルコールやギャンブルなどの依存症と並んで、治療が必要な病気として認定し、心身に問題が起きてもゲームをやめられない状態を「ゲーム障害」という依存症に認定しました。